

株式会社日新 神奈川埠頭倉庫

月例安全会議

第2回 安全データシート (SDS)



一般財団法人

新日本検定協会

安全環境室

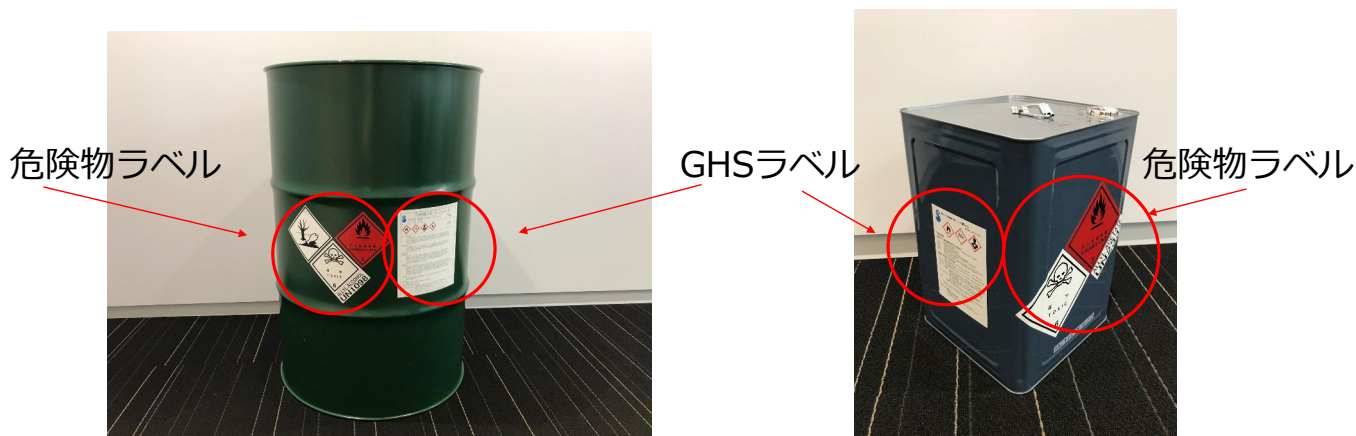
2023年10月31日



GHSと危険物輸送に関する勧告の比較

表示方法の比較

	対象	範囲	表示位置	表示の方法	絵表示の例
GHS	化学品	ライフサイクル全般 (生産から廃棄まで)	単一容器 内装容器	GHSラベル (化学品の名称・注意喚起語 危険有害性情報・注意書き 供給者情報)	
危険物輸送に関する勧告	危険物	輸送 (全輸送モード共通)	単一容器 外装容器 コンテナ	ラベル・プラカード (等級・副次危険性等級 国連番号・正式輸送品名 その他の表示)	



© 2023 SHIN NIHON KENTEI KYOKAI

3

SDSの構成 16項目

1 化学品(製品)及び会社情報

2 危険有害性の要約

3 組成及び成分情報

4 応急措置

5 火災時の措置

6 漏出時の措置

7 取扱い及び保管上の注意

8 ばく露防止及び保護措置

9 物理的及び化学的性質

10 安定性及び反応性

11 有害性情報

12 環境影響情報

13 廃棄上の注意

14 輸送上の注意

15 適用法令

16 その他の情報

SDSの構成 16項目

項目番号	項目名	主な記載内容
1	化学品(製品)及び会社情報	化学品の名称・製品コード・供給者の会社名称、住所及び連絡先 緊急連絡電話番号・推奨用途及び使用上の制限
2	危険有害性の要約	GHS分類 (JISZ7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法) GHSラベル要素
3	組成及び成分情報	単一物質又は混合物の別・化学名又は一般名・CAS番号・別名 混合物の場合は危険有害性の基となる成分の化学名及び濃度
4	応急措置	吸入した場合・皮膚に付着した場合・眼に入った場合・飲み込んだ場合の措置
5	火災時の措置	消火剤・使ってはならない消火剤・消火方法
6	漏出時の措置	人体に関する注意事項・保護具及び緊急時措置・環境に対する注意事項・封じ込め及び浄化の方法及び機材
7	取扱い及び保管上の注意	安全取扱注意事項・安全な保管条件・安全な(不適な)容器包装材料
8	ばく露防止及び保護措置	呼吸用保護具・手の保護具・眼の保護具・皮膚及び身体への保護具
9	物理的及び化学的性質	外観・臭い・ph・融点・凝固点・沸点・初留点及び沸騰範囲・引火点 蒸発速度・燃焼性・爆発範囲・蒸気圧・蒸気密度・比重・溶解度 n-オクタノール/水分分配係数・自然発火温度・分解温度・粘度
10	安定性及び反応性	避けるべき条件・混触危険物質・危険有害な分解生成物
11	有害性情報	急性毒性・皮膚腐食(刺激)性・眼に対する重篤な損傷性・呼吸器感作性・生殖細胞変異原性・発がん性等
12	環境影響情報	生態毒性・残留性・分解性・生態蓄積性・土壌中の移動性・オゾン層への有害性
13	廃棄上の注意	残余廃棄物と汚染容器包装の推奨する廃棄方法(安全・環境)
14	輸送上の注意	国際規制(陸上・海上・航空)によるコード及び分類に関する情報 国連番号・品名・分類・容器等級・海洋汚染物質(該当・非該当) MARPOL73/78附属書及びIBCコードへの該当と掲載された品名
15	適用法令	SDSの提供が求められる国内法令・その他規制および適用法令
16	その他の情報	1～15に該当しない情報・推奨される取扱い・出典等

2023 SHIN NIHON KENTEI KYOKAI

5

1 化学品(製品)及び会社情報

作成日 : 1994/03/31

改訂日 : 2017/11/15

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : 高純度臭化水素

供給者の会社名称 : 昭和電工株式会社

住所 : 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー23階

担当部門 : 情報電子化学品事業部 ファイン製品部

電話番号 : 044-520-1362

ファックス番号 : 044-520-1366

緊急連絡電話番号 : 昭和電工株式会社 川崎事業所
休日・夜間(電話番号 044-322-6844)

推奨用途及び使用上の制限 : 工業用途

整理番号 : GS-503

2023 SHIN NIHON KENTEI KYOKAI

6

2 危険有害性の要約

2. 危険有害性の要約

[GHS 分類]

- 物理化学的危険性 : 可燃性又は引火性ガス 区分外
: 支燃性又は酸化性ガス 区分外
: 高圧ガス 液化ガス
- 健康有害性 : 急性毒性(吸入:気体) 区分 3
: 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 区分 1
: 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 1
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 1
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1

その他の危険有害性の項目については、「分類できない」が「分類対象外」のいずれかです。

[GHSラベル要素]

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : (H280) 高圧ガス:熱すると爆発のおそれ
(H314) 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
(H331) 吸入すると有毒
(H370) 臓器の障害 (呼吸器系)
(H372) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

- : (P260) 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
(P264) 取扱い後はよく手などを洗うこと。
(P270) この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
(P271) 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
(P280) 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置

- : (P301+P330+P331) 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
(P304+P340) 吸入した場合:被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
(P305+P351+P338) 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
(P308+P311) ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
(P310) 直ちに医師に連絡すること。
(P314) 気分が悪い時は、医師の診断又は手当てを受けること。
(P321) 特別な処置が必要である。
(P363) 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

- : (P403+P233) 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
(P405) 施錠して保管すること。
(P410+P403) 日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

廃棄

- : (P501) 内容及び容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3 組成及び成分情報

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 化学物質
化学名又は一般名 : 臭化水素
別名 : ブロム水素
臭化水素 (無水物)
臭化水素酸

名前	CAS 番号	濃度	化学式等	官報公示整理番号 (化審法) (安衛法)	
臭化水素	10035-10-6	>= 99.999%	HBr	(1)-105	既存化学物質

7 取扱い及び保管上の注意

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

： 容器の使用にあたっては、容器のラベル表示、刻印を確かめる。
容器は倒れないように固定したうえで立てて使用する。
バルブ、その他ガスが直接触れる所には油脂、有機物等が付着しないようにする。
減圧弁、配管等の取り付けにあたっては、バルブのネジ規格にあったものを確かめて使用する。
必ず、圧力調整器等を使用する。
容器内への逆流防止のため、容器充填の全量を消費せず、容器内圧力が 0.1MPa 以上残るようにする。

局所排気・全体換気

： 「8. 暴露防止及び保護措置」記載の設備対策を行う。

注意事項

： 容器弁の操作は丁寧に行い、過大な力をかけない。
ポンペのパッキンやナット、配管が緩んでいないか確認し、装置や配管に接続してから徐々にバルブを開ける。
強酸化剤、強塩基、金属から遠ざけておく。
耐圧期限のきれた容器は使用後速やかに返却する。
容器に他のガスが入った可能性があるときは、使用せずに詳細を販売店及び製造元に連絡し、返却する。

保管

安全な保管条件

： 充填容器は常に 40℃ 以下の乾燥状態を保ち、火気の 2m 以内には絶対に置かない。
ポンペは垂直に立てて保管し、鉄棒や鎖等で転倒防止処置をする。
横置きが標準とされた大型容器は歯止めをする。危険物等、接触・混合で反応する危険のあるものと同一場所に保管しないこと。
バルブの保護キャップ、アウトレットキャップは使用時以外は、常に取り付けるようにする。
容器の保管にあたっては、充填容器及び残ガス容器に区分して保管する。腐食性の雰囲気や、連続した振動にさらされないようにする。
ガス漏洩を検知器の設置等を検討する。

2023 SHIN NIHON KENTEI KYOKAI

9

9 物理的及び化学的性質

9. 物理的及び化学的性質

形状	： 液化ガス
色	： 無色
臭い	： 刺激臭
pH	： データなし
融点	： -86.9 °C
沸点	： -66.7 °C
引火点	： 不燃性
爆発範囲（上限、下限）(g/m³)	： なし
蒸気圧	： 2.31 MPa (21.1°C)
蒸気密度	： 3.33 kg/m³
比重（相対密度）	： 気体比重：2.71 (Air=1) 液体密度：2.16 g/cm³ (-66.7°C)
溶解度	： 水：204 g/100g (15°C) 酸素を含む有機溶媒には通常、発熱してよくとける。
オクタノール／水分配係数	： データなし
自然発火温度	： データなし
分解温度	： データなし
その他のデータ	： 融解潜熱：29.7 kJ/kg 蒸発潜熱：215 kJ/kg 定圧比熱：0.3680 kJ/kg・°C 臨界温度：89.8 °C 臨界圧力：8.51 MPa

2023 SHIN NIHON KENTEI KYOKAI

10

10 安定性及び反応性

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の取扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	: 酸素とは加熱により反応して臭素と水を生成する。 水と激しく反応し、腐食性水溶液が生じる。 オゾンとは爆発的に反応する。 フッ素、アンモニア、酸化鉄、不飽和有機物などとは激しく反応する。 塩素とは塩化水素と臭素を生成し、臭素とは多臭素化合物を生成する。
避けるべき条件	: 熱、空気、光
混触危険物質	: 強酸化剤、塩基、有機物、水
危険有害な分解生成物	: 湿潤状態では銀、白金、タンタルを除き殆どの金属を腐食する。 (反応により水素ガスを発生する。)
その他	: 空気中の湿気で発煙。

15 適用法令

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	: 通知対象物質ではありません
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 臭化水素 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) 臭化水素
毒物及び劇物取締法	: 劇物(法第2条別表第2) ブロム水素
消防法	: 貯蔵等の届出を要する物質(法第9条の3・危険物令第1条の10六別表2) 貯蔵等の届出を要する物質(法第9条の3・危険物令第1条の10六別表2—18・平元省令2号第2条)
船舶安全法	: 高圧ガス・毒性高圧ガス(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
航空法	: 高圧ガス・毒性高圧ガス(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	: その他の危険物・高圧ガス(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
道路法	: 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
高圧ガス保安法	: 液化ガス(法第2条3)、毒性ガス(容器則第2条30)
水道法	: 有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号) 臭化水素